

科目名		校外実習（ Internship ）							
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第4／5学年	全学科	履修	1 単位	選択	実習	通年	5日以上		
担 当 教 員									
学 習 到 達 目 標									
科目の到達目標レベル	本科目では、学生が民間企業、政府・地方自治体、公益法人等(以下、「企業等」という)の現場において実習・研修を行い、実社会での就業を体験する。校外実習の目的は、企業等での就業体験を通して、学生の学習意欲を向上させるとともに、高い職業意識を涵養し、責任感や自立心などを醸成することにある。学習到達目標は、以下の3つである。 (1)企業等の活動について説明することができる。 (2)高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性について説明することができる。 (3)自身のキャリア・デザインを明確化するために積極的な行動ができる。								
到達目標 (評価項目)	優れた到達レベルの 目安	良好な到達レベルの 目安	最低限の到達レベルの 目安	未到達レベルの 目安					
到達目標 ①	技術者の実務および責任のある仕事の進め方を理解した上で、企業等の活動について説明することができる。	技術者の実務を理解した上で、企業等の活動について説明することができる。	企業等の活動について説明することができる。	企業等の活動について説明することができない。					
到達目標 ②	高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性について説明でき、技術者として自身に必要な能力を高めるための計画を立案できる。	高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性および技術者として自身に必要な能力について説明することができる。	高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性について、説明することができる。	高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性について説明することができない。					
到達目標 ③	積極的な行動により、自身のキャリア・デザインを明確化できる。	積極的な行動により、自身のキャリアの方向性を定めることができる。	自身のキャリア・デザインを明確化するために、積極的な行動ができる。	自身のキャリア・デザインを明確化するために積極的な行動ができない。					
学習・教育目標	MESC:(A)③, B:(A)②		JABEE基準1(2)		MESC:(d)-(4), B:(e),(d)-(1)				
達 成 度 評 価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	校外 実習 報告書	報告会 または 面接	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合				60	40				100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】									
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】									
専門的能力の実質化 【インターンシップ】				◎	◎				
態度・志向性(人間力) 【キャリアデザイン力】				○	○				
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									
関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材									
関連科目									
教科書									
補助教材等									

学 習 上 の 留 意 点			
1)本科目を履修しようとする学生は、受入企業等の調査を行い、実習先の決定等について、担任と相談する。 2)本科目の意義と目的、実習・研修中の注意事項等に関する事前教育を受ける。 3)夏期休業中に、5日以上の実習・研修等を企業等で実際に行う。 4)本科目を履修した後、別途定める①校外実習単位認定願、②校外実習報告書、③校外実習日誌、④校外実習証明書を提出する。なお、これらの書式は本校ホームページ／在校生向けページよりダウンロードする。 5)校外実習報告会(又は面接による試問)において、実習・研修等の成果を報告する。			
担 当 教 員 か ら の メ ャ セ ー ジ			
授 業 の 明 細			
	授業内容	到達目標	
	企業等の調査	受入企業等の調査を行うことができる。	
	学内ガイダンス	学内ガイダンスに参加することができる。	
	マッチングと依頼	実習先を決定することができる。	
	事前教育	本科目の意義と目的、実習・研修中の注意事項等について説明することができる。	
	実施	実習先において5日以上の実習を行うことができる。	
	報告書提出	実習で得られた成果を報告書としてまとめることができる。	
	発表	実習で得られた成果を報告会（または面接）において発表することができる。	
総 授 業 時 間 数			5日以上